

漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1

新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

拒	撲	挫	捻	陶	謡	稽	墨	譜	傑	昇	懸	悩	恭	泰	汚
キョ こばーむ	ボク ボク	ザ ザ	ネン ネン	トウ トウ	ヨウ (うたい) (うたーう)	ケイ ケイ	ボク すみ	フ フ	ケツ ケツ	ショウ のぼーる	ケン かーける かーかる	ノウ なやーむ なやーます	キョウ (うやうやーしい)	タイ タイ	オ オ
拒	撲	挫	捻	陶	謡	稽	墨	譜	傑	昇	懸	悩	恭	泰	汚
拒	撲	挫	捻	陶	謡	稽	墨	譜	傑	昇	懸	悩	恭	泰	汚
一	一	一	一	フ	、	ノ	、	、	ノ	、	、	、	一	一	、
⑩ 提案を拒否する (きよひ)	⑮ 打撲が痛む (だぼく)	⑭ 足首の捻挫 (ねんぎ)	⑬ 費用を捻出する (ねんしゅつ)	⑫ 陶芸作家 (とうげい)	⑪ 童謡を口ずさむ (どうよう)	⑩ 稽古に励む (けいこ)	⑨ 水墨画展 (すいぼくが)	⑧ 楽譜を読む (がくふ)	⑦ 最高傑作となる (けっさく)	⑥ 気温が上昇する (じょうしょう)	⑤ 懸命に努力する (けんめい)	④ 苦悩を抱える (くのう)	③ 恭順の意を示す (きようじゅん)	② 一家が安泰となる (あんたい)	① 汚染物質の発生 (おせん)

漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1

その他の教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 氷山 の一角	(ひょうざん)	
② 布の染色	(せんしよく)	
③ 深夜の暗黒	(あんこく)	
④ 明けの明星	(みようじよう)	
⑤ 劇場 へ行く	(げきじよう)	
⑥ 座席 指定車	(ざせき)	
⑦ 当日券 を買う	(どうじつけん)	
⑧ 有名な芸術 作品	(げいじゆつ)	
⑨ 熟語 の辞典	(じゆくご)	
⑩ 速 やかに応じる	(すみ やかに)	
⑪ 心が和 む	(なご む)	
⑫ 役者の演技	(えんぎ)	
⑬ 仲間が集 う	(つど う)	
⑭ 気分が和 らぐ	(やわ らぐ)	
⑮ 和やかな雰囲気 ふんいき	(なご やかな)	
⑯ 専らバスを使う	(もっぱら)	

漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1

新出漢字とその他の教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① おせん 物質の発生	(汚 染)	①⑦ ひようざんの一角	(氷 山)
② 一家があんたいとなる	(安 泰)	①⑧ 布のせんしよく	(染 色)
③ きようじゆんの意を示す	(恭 順)	①⑨ 深夜のあんこく	(暗 黒)
④ くのうを抱える	(苦 悩)	②⑩ 明けのみようじよう	(明 星)
⑤ けんめいに努力する	(懸 命)	②⑪ げきじようへ行く	(劇 場)
⑥ 気温がじようしようする	(上 昇)	②⑫ ぎせき指定車	(座 席)
⑦ 最高けっさくとなる	(傑 作)	②⑬ どうじつけんをかう	(当 日 券)
⑧ がくふを読む	(楽 譜)	②⑭ 有名なげいじゆつ作品	(芸 術)
⑨ すいぼくが展	(水 墨 画)	②⑮ じゆくごの辞典	(熟 語)
⑩ けいこに励む	(稽 古)	②⑯ すみやかに応じる	(速 やかに)
⑪ どうようを口ずさむ	(童 謡)	②⑰ 心がなごむ	(和 お)
⑫ どうげい作家	(陶 芸)	②⑱ 役者のえんぎ	(演 技)
⑬ 費用をねんしゆつする	(捻 出)	②⑲ 仲間がつどう	(集 う)
⑭ 足首のねんざ	(捻 挫)	③⑰ 気分がやわらぐ	(和 らぐ)
⑮ だぼくが痛む	(打 撲)	③⑱ なごやかな雰囲気	(和 やかな)
⑯ 提案をきよひする	(拒 否)	③⑳ もっぱらバスを使う	(専 ら)

漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1

教科書に登場する漢字の書きの続き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

□ おてん を残す	(	汚点	)		(	)
□ 窓がよごれる	(	汚れる	)		(	)
□ 服をよごす	(	汚す	)		(	)
□ 字がきたない	(	汚い	)		(	)
□ 天下たいへい	(	泰平	)		(	)
□ きょうが 新年	(	恭賀	)		(	)
□ 思いなやむ	(	悩む	)		(	)
□ 命がけ	(	懸け	)		(	)
□ 賞金がかかる	(	懸かる	)		(	)
□ 校舎のしょうこう口	(	昇降	)		(	)
□ 朝日がのぼる	(	昇る	)		(	)
□ けっしゅつ した作品	(	傑出	)		(	)
□ 作家のねんぷ	(	年譜	)		(	)
□ すみえの馬	(	墨絵	)		(	)
□ 日本のみんよう	(	民謡	)		(	)
□ どうきの湯呑 ゆのみ	(	陶器	)		(	)